

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E111C007		音楽(小)(School Music (Elementary School))																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
必修	2	1	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 田中星治 他 E-mail tanaka@oita-u.ac.jp (田中) 内線												
授業の概要	小学校音楽科の教科書に記されている内容について理解し、小学校教員に必要な音楽の各領域の基本的な知識と技能を修得し、2年次の「音楽科指導法(小)」を受講する際の基礎とする。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 小学校教科書に記述されている音楽教科の基本的事項について説明できる。																		
目標2 小学校の歌唱と器楽の基礎的な技術と指導法について説明できる。																		
目標3 小学校の音楽づくりの趣旨と基礎的な指導法について説明できる。																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 授業ガイダンス(担当:全教員)																		
2 歌唱の指導法(1):発声のメカニズムと変声期(担当:栗栖由美子)																		
3 歌唱の指導法(2):小学校歌唱共通教材(1年~3年)を使つての指導(担当:栗栖由美子)																		
4 歌唱の指導法(3):小学校歌唱共通教材(4年~6年)を使つての指導(担当:栗栖由美子)																		
5 歌唱の伴奏法(1):鍵盤楽器の基礎的演奏法(担当:田中星治)																		
6 歌唱の伴奏法(2):伴奏の付け方について(担当:田中星治)																		
7 歌唱の伴奏法(3):まとめと実践(担当:田中星治)																		
8 音楽づくりの活動(1):活動の意義(担当:清水慶彦)																		
9 音楽づくりの活動(2):簡易メロディー創作(1)理論(担当:清水慶彦)																		
10 音楽づくりの活動(3):簡易メロディー創作(2)実践(担当:清水慶彦)																		
11 鑑賞領域(1):小学校低学年の鑑賞(担当:松田聡)																		
12 鑑賞領域(2):小学校高学年の鑑賞(担当:松田聡)																		
13 鑑賞領域(3):表現と組み合わせた鑑賞(1)リコーダーを中心に(担当:松田聡)																		
14 鑑賞領域(4):表現と組み合わせた鑑賞(2)合奏を中心に(担当:松田聡)																		
15 授業全体のまとめ(担当:全教員)																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	授業時の音楽実践等により、知識や技能の習得状況を確認する。					工夫	その他の										
	B:意見の表現・交換																	
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	次回の内容に関する自身の知識を確認しておく(15h)。																
	事後学修	各回の内容を振り返る(15h)。																
教科書	『小学生の音楽』(小学校1~6年生)、教育芸術社																	
参考書	『小学校学習指導要領』、『小学校学習指導要領解説 音楽編』																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	授業への参加度	40%																
	試験	60%																
全授業回の3分の1以上を欠席した場合や試験が未受験だった場合は単位を認めない。																		
注意事項	・初回到講義の履修に関する基本的な説明をするので、受講希望者は必ず出席すること。 ・教材としてソプラノ・リコーダーが必要になる(これについても、初回到説明のプリントを配布する)。																	
備考	なし																	
リンク																		
	URL																	